

インフルエンザ関連情報 ～高知県でのインフルエンザの注意報発令～

1 概要

高知県感染症発生動向調査の平成28年第5週（2月1日～7日）の報告で、インフルエンザ様患者が前週の5.58から16.44に増加し、県全体が、注意報の発令基準値の1定点医療機関あたり10.0を超えましたので注意報を発令します。今後も流行が拡大していくものと考えられますので、県民の皆様への注意喚起のため情報提供を行います。

* 1 定点医療機関あたり報告数とは…インフルエンザの患者数の把握をするため、定点医療機関として選定している、県内48医療機関より、毎週の患者数を報告いただき、患者総数を定点医療機関数(48)で割った1医療機関当たりの報告数。

2 全国・高知県内の発生動向（インフルエンザ）

(1) 全国

定点医療機関の報告数は、平成27年第48週（11月23日～29日）以降増加しており、平成28年第4週（1月25日～31日）で定点当たり22.57となっています。報告数が多かったのは、新潟県39.44、沖縄県34.29、福岡県31.88となっており、全都道府県で前週よりも増加しています。平成27年第53週～平成28年第4週の直近の5週間では、インフルエンザウイルスの検出は、AH1pdm09の割合が最も多くなっています。

(2) 高知県内

定点医療機関の報告数は、平成27年第52週より増加し始め、平成28年第5週（2月1日～7日）の報告で1定点医療機関あたり16.44となり、注意報値（10.0）を超えました。保健所管内別では高知市保健所管内（24.75）、中央東福祉保健所管内（18.36）、須崎福祉保健所管内（15.25）、中央西福祉保健所管内（12.60）、安芸福祉保健所管内（7.50）、幡多福祉保健所管内（4.63）となっています。

医療機関による迅速キット結果では、インフルエンザウイルスの検出はA型の割合が最も多くなっています。

(3) 高知県内幼稚園、小学校、中学校、高等学校における休校数、学年閉鎖学校数、学級閉鎖学校数（H28.2.5）

	1/25～31日	2/1～7日	累計
休園、休校数	0	0	0
学年閉鎖学校数	0	0	0
学級閉鎖学校数	2	4	6

3 予防対策と注意事項

【かからないために】

- ① こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ② でかけるときは、なるべく人ごみを避けましょう。
- ③ 十分な栄養と休養をとりましょう。

【人にうつさないようにするために】

- ① 「咳エチケット」を守りましょう。
- ② 外出はできるだけ控えましょう。

【医療機関を受診する時の注意点】

- ① 事前に電話をして、受診時間や受診に際しての注意事項を確認しましょう。
- ② 受診する際には、必ずマスクを着用しましょう。

4 その他

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>

高知県健康対策課ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/influ.html>

高知県感染症情報ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/kansenshouzyouhou.html>

※高知県では、日本一の健康長寿県構想を策定し、
県民の健康づくりを重点的に進めています。

担当課：健康対策課
担当者：宮地
電話：823-9677